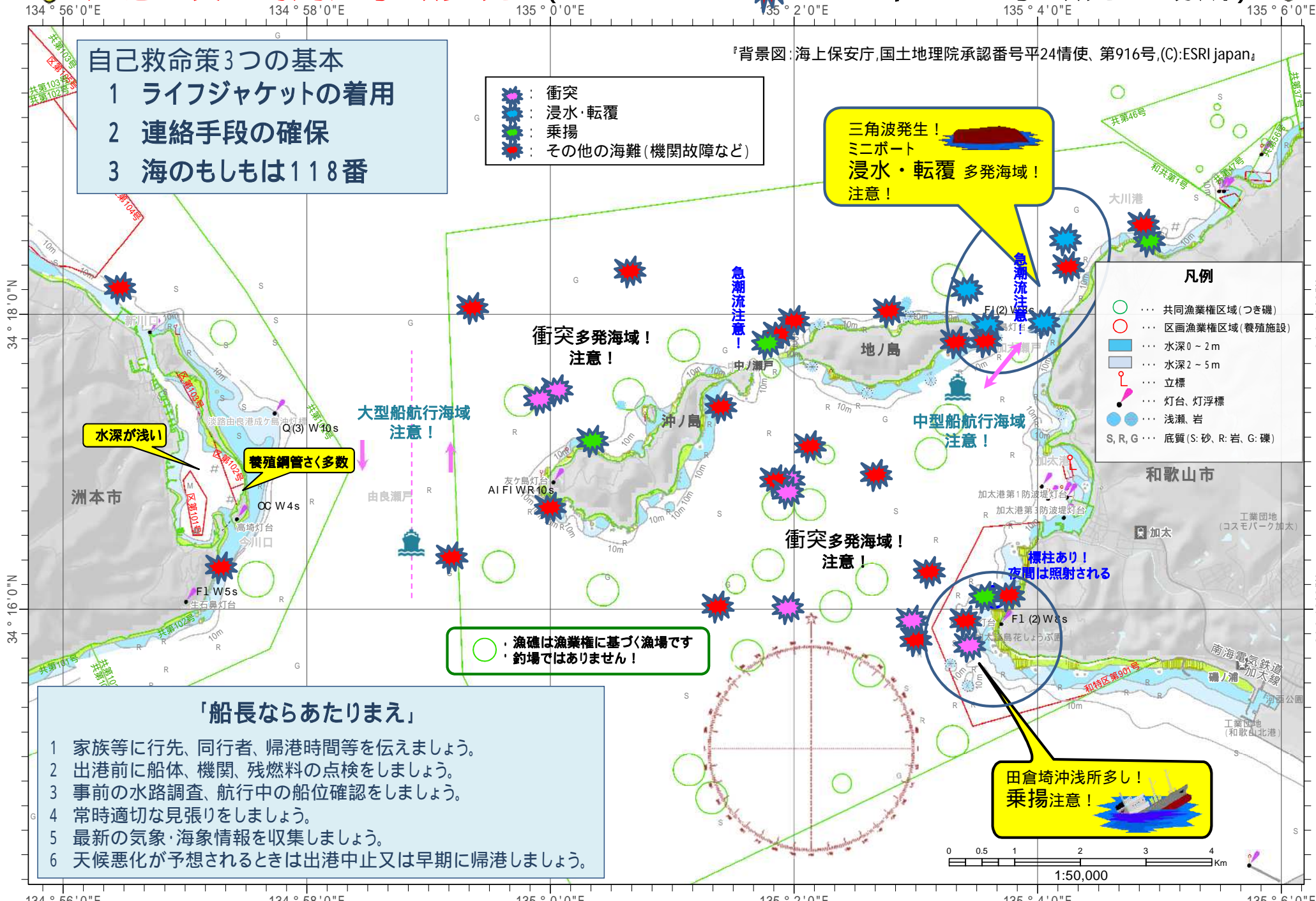


注意 友ヶ島周辺事故多発 (H26~H28 プレジャーボート事故発生場所)



自己救命策3つの基本

- 1 ライフジャケットの着用
- 2 連絡手段の確保
- 3 海のもしもは118番

- 衝突
- 浸水・転覆
- 乗揚
- その他の海難(機関故障など)

三角波発生!
ミニボート
浸水・転覆 多発海域!
注意!

水深が浅い
養殖網管さく多数

大型船航行海域
注意!

○ 漁礁は漁業権に基づく漁場です
釣場ではありません!

急潮流注意!
鳥海流注意!

中型船航行海域
注意!

衝突多発海域!
注意!

田倉崎沖浅所多し!
乗揚注意!

凡例

- …… 共同漁業権区域(つき磯)
- …… 区画漁業権区域(養殖施設)
- …… 水深0~2m
- …… 水深2~5m
- …… 立標
- …… 灯台、灯浮標
- …… 浅瀬、岩
- S, R, G …… 底質(S:砂, R:岩, G:礫)

「船長ならあたりまえ」

- 1 家族等に行先、同行者、帰港時間等を伝えましょう。
- 2 出港前に船体、機関、残燃料の点検をしましょう。
- 3 事前の水路調査、航行中の船位確認をしましょう。
- 4 常時適切な見張りをしましょう。
- 5 最新の気象・海象情報を収集しましょう。
- 6 天候悪化が予想されるときは出港中止又は早期に帰港しましょう。

救命胴衣は海のシートベルト

和歌山海上保安部